

まほろば



2019.12
第220号

危険から自分の身を守ろう！

令和元年 11 月 12 日、当院で開催された弘前警察署生活安全課の方による防犯講習会に参加しました。初めに、青森県の性犯罪・ストーカー等の発生傾向と自分でできる対策について話していただきました。不審者等から自分の身を守るためには周囲に注意を向ける必要があり、「ながら歩き」の危険性を改めて認識しました。また、青森県では声掛け等の犯罪につながる可能性のある前兆事案情報について情報提供が行われており、身の回りにどのような危険が潜んでいるかを知るツールがあることも学びました。

講演後は参加者同士で、手の組み方や動く方向などポイントを踏まえながら護身術を体験できました。体験後には「いざという時に動けるか心配」という感想もきかれ、日頃からの備えが重要だと実感しました。

私たち看護職員は患者様の一番近くで安全を守る役割があります。万が一の際に冷静に対応できるよう、今回の講習会で学んだことを活かしていきたいと思えます。

母子医療センター：相馬 結



第73回国立病院総合医学学会に参加して



令和元年11月8日～9日に名古屋で開催された、第73回国立病院総合医学学会に参加させて頂きました。

今回私は「栄養管理室における誤配膳防止の取り組み」という演題名で、平成28～30年度に行っ

た誤配膳防止のための対策について発表を行いました。入院中の食事は治療の一環であり、誤配膳により食事が正しく提供されない場合は、治療に支障をきたすなど患者様に不利益が生じてしまう可能性があります。そのため、栄養管理室では食事オーダーシステムの見直しや配膳方法の検討を行い、患者様に安心して食事を召し上がっていただけるよう対策を行いました。今後も日々検討を重ね、安心安全に努めて参ります。

本学会は全国の機構病院から医師、看護師をはじめ多職種の方が参加、発表をされており、とても刺激をうけ勉強になることがたくさんありました。今回学んだことを今後の業務に生かしていきたいと思います。

栄養士：滝川 桃子

消防訓練に参加して

令和元年11月18日、夜間の火災想定で避難訓練を行いました。出火場所は6階病棟で、夜間勤務者3名のスタッフで連携を取りながら情報収集と連絡、消火活動、応援要請、救出救護を実際に体験しました。3名のスタッフがそれぞれの役割を精一杯頑張りました。応援職員への指示・伝達や、患者役の看護学生の救護に思いの外手間取ってしまったり、患者さんに安心して避難できるような声かけができなかったりし、課題がたくさん見つかりましたが、無事全員を安全に避難させること

ができ、学びの多い訓練となりました。

今回の訓練は火災ではありましたが、色々な災害を想定し、自力で避難できない患者様や、不安でとまどう患者様をいかに安全に、避難させられるか、少ないスタッフで連携をとりながらスムーズに避難させることの大切さを学ぶ事ができました。災害はいつ起こるかわからないので、一人一人が意識を高め、日々の備えと危機管理を徹底していくことが大切であると思いました。

6階病棟看護師：高田 絵美



看護学校レクリエーションin青森



令和元年11月1日、紅葉が彩るなか、レクリエーションとして浅虫水族館と青森県立美術館に行ってきました。今年は11月にレクリエーションを行うことになり、場所選びに悩みました。寒くなったため屋外での活動ではなく、屋内で楽しめる企画としました。浅虫水族館到着後、イルカショーの会場に急ぎ、手拍子を鳴らしテーマソングを歌いながらイルカの登場を待ちました。4頭のイルカのパフォーマンスを楽しく見て心癒されたり、ペンギンやアザラシ、自由に泳ぐ魚たちを見たり、ヒトデなど海の生き物に直に触れたり、学校生活から離れリフレッシュでき、貴重な時間となりました。また、青森県立美術館では、奈良美智さんや棟方志功さんらの作品、シャガールのバレエ

「アレコ」の背景画の展示を間近で鑑賞することができ、落ち着いてリラックスしながらアートを感じ、芸術の秋を堪能することができました。

バスの中での会話も弾み、今回のレクリエーションの目的である学生間及び教員との交流も深められました。1年生は誓い式を終え、2・3年生は実習後の気分転換になり、今後の学校生活や実習に励む意欲が高まりました。



弘前病院附属看護学校2学年（66回生）レクリエーション係：

谷川 夕乃



研修医便り

こんにちは。初期研修医1年目の東彩子です。

今月は小児科で研修しております。はじめは外来でエプロンを着てスタッフの方に教えてもらいながら診療の補助や処置の仕方、小さな子との触れ合い方を学ぶことができ、良い経験となりました。

私の趣味はというと、温泉巡りです。あったかいお湯に浸かってぼーっとしていると、今日あった辛いことやちょっと落ち込んだこともリセットされるような気がするからです。冬に行く温泉地として皆さんにおすすめしたいのは山形県にある銀山温泉です。『おしん』の舞台となったことでも有名で、夜になると旅館に灯る明りが降る雪をきらきらと照らし、幻想的な雰囲気を楽しめます。院内にも温泉好きな方がいらっしゃれば是非温泉談議しましょう！

先日とうとう初雪が降り寒さも日々厳しくなってきましたが、体調に気を付けて研修医生活を送っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

臨床研修医：東 彩子



外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (令和元年12月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本 秀樹	熊本 秀樹	熊本 秀樹	熊本 秀樹	横田 貴志
呼吸器内科		中川 英之	山本 勝丸	中川 英之	山本 勝丸	中川 英之
		山本 勝丸	下山 垂矢子	下山 垂矢子	下山 垂矢子	下山 垂矢子
		下山 垂矢子	田中 佳人	田中 佳人	-	田中 佳人
		-	石岡 佳子	-	-	-
消化器・血液内科		松木 明彦	相原 智之	相原 智之	松木 明彦	相原 智之
		山口 公平	間山 恒	松木 明彦	間山 恒	山口 公平
		佐藤 年信	千葉 裕樹	佐藤 年信	山下 寛	佐藤 年信
		石黒 陽	石黒 陽	千葉 裕樹	石黒 陽	石黒 陽
	午後 <small>血液内科のみ</small>	間山 恒	山口 公平	間山 恒	山口 公平	-
脳神経内科		廣畑 美枝	清野 祐輔	-	清野 祐輔	清野 祐輔
小児科		杉本 和彦	佐藤 工	敦賀 和志	佐藤 工	杉本 和彦
		敦賀 和志	松本 麻希	佐藤 啓	杉田 梓	佐藤 啓
		杉田 梓	藤岡 彩夏	藤岡 彩夏	松本 麻希	藤岡 彩夏
外科		柴田 滋	内田 知頭	柴田 滋	内田 知頭	三上 勝也
		-	堤 伸二	堤 伸二	堤 伸二	-
乳腺外科		小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅
整形外科	午前	岩崎 宏貴	秋元 博之	秋元 博之	中村 吉秀	秋元 博之
		藤田 有紀	中村 吉秀	岩崎 宏貴	藤田 有紀	中村 吉秀
		松本 健太郎	藤田 有紀	松本 健太郎	-	岩崎 宏貴
脳神経外科		-	-	木村 正英	-	-
皮膚科	午前	熊野 高行	佐藤 正憲	佐藤 正憲	熊野 高行	熊野 高行
		佐藤 正憲	熊野 高行	熊野 高行	佐藤 正憲	佐藤 正憲
	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
泌尿器科	午前	成田 拓磨	成田 拓磨	成田 拓磨	成田 拓磨	成田 拓磨
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		飯野 香理	松村 由紀子	追切 裕江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	飯野 香理
		松村 由紀子	丹藤 伴江	丹藤 伴江		追切 裕江
眼科		蒔 苗 順義	蒔 苗 順義	蒔 苗 順義	蒔 苗 順義	蒔 苗 順義
耳鼻咽喉科		西澤 尚徳	西澤 尚徳	(手術)	西澤 尚徳	西澤 尚徳
		松下 大佑	原 隆太郎	-	-	-
放射線科	診断	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄
		-	坂下 仁菜	-	辰尾 小百合	-
	治療	-	-	川口英夫(午後)	-	川口英夫(午後)
女性専用外来		杉本 菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		-	-	-	休診	-

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。
 ※ セカンドオピニオン外来は当分の間休診となります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

彼を待つ まつ毛にかぶる 小雪かな (石沢)

まほろばの まっ白き屋根よ 冬化粧 (石沢)

「賢治」読み ドカ雪負けず こころ意気 (石沢)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://hirosaki.hosp.go.jp/>

責任者：副院長 小田桐 弘毅